

◇ 令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津市立文化ホール			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	教育委員会事務局	生涯学習課	初年度	120,678,616円	21,246,610円	148,264,374円	計画通りの利用料金収入を確保し、計画的に予算執行を行った。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
施設HPアドレス	https://kusatsu-art.center/creahall https://kusatsu-art.center/amicahall		2年目	113,157,628円	24,861,330円	131,745,449円	支出を上回る収入を確保している。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定管理者名	(公財)草津市コミュニティ事業団		3年目	116,259,321円	19,436,690円	148,237,696円	光熱水費の高騰等により、計画では赤字の見込みであったが、計画的に予算執行を行い、黒字となった。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	115,958,281円	19,331,124円	155,334,940円	2館の一体的な運営と予算管理により、安定した経理状況を維持している	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じたまちづくりを進める。
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	アミカホール：平成23年4月1日 クレアホール：平成27年1月1日
施設の供用開始日	アミカホール：平成4年5月6日 クレアホール：平成27年1月1日
指定管理導入前の運営形態	アミカホール：市直営 クレアホール：県営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施する。 事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力を有する中間支援機能(草津アートセンター機能)を拡充し、草津市文化振興条例および同計画の推進に寄与する。 ▼成果指標(目標) ① 公演型事業数:21事業(①鑑賞型、②普及啓発、③市民協働、④創造型、⑤重点プロジェクト、⑥情報発信、⑦次世代育成事業) ② アウトリーチ型事業数:2事業 ③ アートセンター相談件数:20件 ④ 情報発信: 情報誌12回 ラジオ12回、HP YouTube用ダイジェスト版を作成する。	事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) ▼成果指標(結果) ①公演型事業数:21事業(うちインリーチ1事業)、②講座型事業数:2事業 ③アウトリーチ型事業数:2事業、④アートセンター相談件数:20件 ⑤情報発信:情報誌12回 ラジオ12回 今年度で第7期生を募集することになった草津歌劇団は滋賀県のプラスチックごみ削減に向けた啓発イベント『しがプラチャレンジ』のPR動画に出演したり、令和6年度には草津市立プールのオープニングアクトに出演する等、草津市独自の文化事業として着実に根付いてきている。 アートセンターの設立当初の相談内容は、アーティストの紹介等に限られていたが、今では舞台の演出や事業内容に関する相談まで多岐にわたり、劇団四季のように全国で開催される事業を滞りなく開催できている実績を元に相談内容に対して的確に対応し、相談者の満足度を高めることができている。
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴って様々な文化芸術事業を本格的に再開し、市民とともに創る事業から全国区的な事業までそれぞれの目的に沿った事業が展開できた。定着してきた劇団四季公演は、数日でチケットが完売になるなど人気を博し、『こころの劇場』では小学6年生を招待して優れた舞台芸術に触れる機会の提供も行い、参加した学校からたいへん好評であった。また、子育て支援につながるファミリーコンサートや0歳児から対象のアートスタートコンサート等、満席になった事業が多数あった。さらに草津歌劇団7期生による『みずの国のアクア』を上演し2日間満席になるなど、子どもたちのオリジナルミュージカルが草津市に根付いており、次世代育成を推進している。その他、ジャンルに合わせた舞台仕様による草津芸術祭が参加団体に喜ばれる等、各種事業で好評を得ている。 ▼成果指標(結果) ①公演型事業数:20事業 ②アウトリーチ型事業数:2事業 ③アートセンター相談件数:20件 ④情報発信:情報誌12回 ラジオ12回、HP、YouTube用ダイジェスト版を作成する。	公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (非公募について) (公財)草津市コミュニティ事業団は、市の指定する中間支援組織であり、市だけでは実現が困難であった施策の展開について、市と協働しながら取り組まれてきた。また、草津の文化の担い手の育成、文化的資産の活用にも積極的に取り組まれ、文化を通じたまちづくりに貢献いただいている。 (利用料金制について) 今年度を実施された指定管理者選定評価委員会において、利用者の利便性向上や利用促進につながるため、引き続き導入すべきであるとの意見頂戴している。また、利用者アンケートの結果からも料金設定に概ね満足との評価を得ていることから、利用料金制度を継続することで、指定管理者の経営努力を促したい。

◇施設に係る主な指定管理業務	
・文化ホールの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立草津アマカホール、草津クレアホールの各条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

文化振興事業（管理業務仕様書P.3）			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴って様々な事業が制限なく実施に向かっていく中で、これまで経験のないジャンルやNHKのど自慢、宝くじキーウパレエ公演など全国レベルの公演が市民に提供できた。また、地域、大学との連携で開催した『南草津安心安全コンサート』は、滋賀県初となる消防と警察の音楽隊による合同伴奏は、市民が参加し、避難誘導まで実施でき、劇場の担う役割の一つが果たせたプログラムであった。	上半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
	下半期評価	発表団体の専門により舞台仕様を変えた芸術祭は、日ごろの成果発表の場として、舞台芸術経験の場として高度な技術を提供できた。また、青少年育成プログラムでは、参加しやすい環境を整え、多くの青少年が参加交流でき好評を得た。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆☆
市民が気軽に芸術に触れる機会や地元アーティストが活躍できる機会づくりを目的として『わくわくファミリーコンサート』が開催され、アニメ曲を中心としたラインナップで大人から子どもまで楽しめるコンサートを実施された。また、地元の協議会と協働して『南草津安心安全コンサート』を開催し、鑑賞と併せてコンサート中にシェイクアウト体験も行い、来場者の防災意識も高めることが出来た。 市内在住の未就学児とその親を対象とした音楽を身近に触れることのできる環境を提供するために、市と協力してアートスタート事業『アートフルール』を開催した。午前・午後の2部開催で、それぞれ248名と254名の来場となり、来場者アンケートでは満足度が非常に高いものであった。アーティストは市内在住の方中心に構成され、草津の文化を担う次世代を育成することが出来ている。また、幼少期から文化に触れる機会の充実を図り、文化振興計画の重点プロジェクトに沿った事業として展開されている。			

利用者満足度に関すること（管理業務仕様書P.3）			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	本年度も、管理業務仕様書に基づいて、年間を通して施設利用者へのアンケートを実施した。	上半期評価
	☆☆☆☆	新型コロナウイルス感染症の5類移行直前直後の時期でもあることから、当面引き続き消毒等を丁寧に行うとともに、それがわかる掲示も充実させるなど、安心して利用できるように努めた。	☆☆☆
	下半期評価	貸館時におけるアンケート集計では、「受付対応」「施設・備品の清潔さ」「利用料・利用時間」について、アンケート回答者の98%前後の高い評価を得ている。また、適切な技術アドバイスにより、高度な舞台技術を要するパレエやダンス等での利用希望が増加している。芸術祭における、内容に合う舞台設定ごとの日程を設けた実施方法にも好意的な声が聞かれた。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆
アンケートの回答数が低下していることから、回答率を高めるためにも、鍵の返却時にアンケートの記入のお願いをスタッフに徹底させる等の対応が必要であると考え。アンケートを回答された方からはこれまでと同様に、満足度90%を超える高い評価を維持していることから、継続な取り組みに努めてもらう。			

貸館に関する業務（管理業務仕様書P.4）			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行前後の対応を適切に行うことができた。消毒や換気等を当面を引き続き丁寧に行うとともに、こうした姿勢を掲示物等で見える化し、利用者の安心安全を確保するようにした。また、生涯学習課との定例会を毎月行い、貸館状況等について、適宜協議している。貸館においては使用許可、料金の徴収・返還、料金の減免について遺漏なく行うことができている。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	本年度は、10月～12月頃の貸館が多かったが、クレアホールにおいては駐車場対応等に気を付け、利用者が困ることの無いように留意した。申請受付時は丁寧な説明をするよう心掛けていること、利用当日についても目的や活動内容に応じて使い勝手が良いう配慮するよう心掛けていることが、満足度の高さに繋がっていると考えている。	下半期評価
	☆☆☆☆		☆☆☆
クレアホールは自主事業を中心に実施されたことで、ホールやリハーサル室の利用件数及び全体の利用者数が前年よりも上回っている。R3に防音改修した活動室やR5にスライディングウォールを含めて内装を一新した展示ホールは、近隣他市の施設よりも機能の優位性があることから、それぞれの特徴を利用者に周知させ、利用率の向上に努めてもらう。			

施設の維持管理（管理業務仕様書P.7）			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	仕様書に定める点検回数を順守して安全を確保するとともに、日常清掃業者に対してもその日の清掃の重点を毎朝伝える等して、気持ちよく利用できる施設の維持管理に努めた。	上半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
	下半期評価	老朽化による不具合等が発生するため、見落とさないように点検し、判明したものについては速やかに修繕するようにするとともに、生涯学習課への「報・連・相」もこまめに行うようにしている。	下半期評価
	☆☆☆		☆☆☆
施設および設備の日常の維持管理の他、中長期の改修計画について、市と連携して取り組んだ。 今年度に市が発注した改修工事は長期の休館を伴うことになったが、その期間を活用して普段改修できない空調設備やダンパーの更新を行うことで、開館期間中に支障をきたすことなく、施設の維持管理に努めることができた。			